校種：小学校　　対象学年：３年　　人権課題：「障がい」・違いによる偏見

「ふつう」って何だろう？

**１　教材について**

本教材は、「障がい」に対する偏見や差別を乗り越えていく力を子どもたちに育むためにつくったものである。子どもたちは、「障がい」または「障がいがあると言われる人」に対してどのような認識を持っているだろうか。実際に子どもたちに尋ねると、「何かができないこと（人）」「かわいそうな人」「ふつうじゃない人」という答えが返ってくることがある。この答えは正しいのだろうか。

「障がいがあると言われる人」は、いろんな器具を使いこなしたり、手話ができたり、点字を読むことができたり、白杖で街を歩いたり、いろんなことを敏感に感じ取ったりする。果たして「できない人」だろうか。

「かわいそう」という言葉は、「思いやりのある言葉」として捉えられている面があるが、「あなたは、かわいそうね」と言われてうれしいだろうか。「かわいそう」という言葉の裏には、同情や哀れみなど、無意識または善意の偏見や差別心が隠れていることが多い。

「ふつう」はどうであろうか。自分が知っていること、自分があたりまえだと思っていることのみが「ふつうだ」と捉えていないだろうか。そうなると、自分が知らないこと、自分にとってあたりまえでないことは「ふつうではないこと」になってしまい、非難や攻撃・排除の言動を行う原因となりかねない。

このような一面的・ステレオタイプ的な意識にとらわれてしまうのは、学ぶ機会や多様な人との出会いがないためであることが多い。この学習では、子どもたちの中の「ふつう」の幅を豊かに広げ、自分や他者をおとしめることなく、社会の中の偏見・差別を乗り越えていく（はね返す）力を育てていくことをめざしていきたい。できれば、本学習を１時間の授業で終わらせるのではなく、地域の多様な人との出会いにつなげていってほしい。

**２　実践のポイント**

　〇　本学習では、パワーポイント教材「『ふつう』って何だろう？」を使って、子どもたちと「ふつう」とは何かを考えていくようにしている。その中で、「ふつう」は１つではないこと、多様であること、「障がい」のある人は、ふつうじゃない人などではなく、私たちと同じように、自分らしく楽しく生きていこうとしている人たちであることに気づかせていきたい。

　〇　さらに、「見た目」「ふるさと」「できること・できないこと」を多様な「ふつう」の例として取りあげる。これは、外見やルーツ・能力などに関する偏見から子どもたちを解き放つことを目的としている。そして、同じように違っていることが「ふつう」である事例を、子どもたち自身に考えさせていきたい。自分たちで意見を出し合いながら、「多様な『ふつう』を自分たちで実感として獲得していく喜び」を子どもたちに感じさせることを大切にしたい。

　〇　授業の週末では、金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」を本時の学習と重ねながら、その意味を味わわせるとともに、「みんなちがって、みんないい」けれども、違いによって人をバカにしたり、排除したりすることは「まちがい」であり、「まちがい」はみんなでなくしていこうという意識を持たせたい。

**３　教科等における活用例**

**〇　道徳科**

　　　道徳科の授業として実施する場合には、価値項目はB(10)「相互理解、寛容」で実施しすることができると考える。

**〇　総合的な学習の時間**

総合的な学習の時間として実施する際には、以下のような単元構成を考えることができる。

①「ふつう」って何だろう？（本時）

　…「ふつう」とは、１つではなく多様であること、違いを豊かなものと捉えることが、みんなが安心して幸せに生きるために大切なことを理解する。

②いろんな「ふつう」を探してみよう！

　…学校の特別支援学級や地域の特別支援学校、福祉施設などを訪問し（または、ゲストティーチャーに招き）、そこにある「ふつう」を見つけ出す活動を行う。

③いろんな「ふつう」をまとめて、発表会を開こう！

　…自分たちで見つけたさまざまな「ふつう」や、それぞれの違いを大切にする工夫、調べてみて自分たちが感じたことなどを共有し、まとめて発信する。

**４　実践を通して育みたい資質・能力**

|  |  |
| --- | --- |
| 知識的側面 | ・「ふつう」は１つではなく、さまざまな「ふつう」があることを、具体的な事例を挙げながら理解することができる。 |
| 価値的・  態度的側面 | ・さまざまな「ふつう」があることをみんなが理解していることが、みんなが安心できる学校づくり・地域社会づくりにつながることを感じ取ることができる。  ・違いをもとに、他者をバカにしたり、攻撃したりすることは「まちがい」であることに共感的に気づくことができる。 |
| 技能的側面 | ・違いをもとに、他者をバカにしたり、攻撃したりするような言動を自分で自制したり、まわりに指摘・発信することができる。  ・学校の中の特別支援学級、地域にある特別支援学校や「障がい」者福祉施設に偏見なく関わろうとすることができる。 |

「ふつう」って何だろう？

**５　実践する教科等**

　　小学校　第３学年　道徳科

**６　本時の目標**

|  |
| --- |
| **「ふつう」とは、１つではなく多様なものであることに気づくとともに、いろんな人の違いを大切にしていくことで、安心して楽しく生活できるようなることに気づく。** |

**７　展開例**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動と主な発問（☆） | 予想される子どもの反応 | 教師の支援・指導 |
| つかむ | **１　本時の学習のテーマを知る。**  ☆今日は、「ふつう」ということについて、みんなで考えてみましょう。 | ・「ふつう」？  ・どんなこと勉強するんだろう？  ・「ふつう」は「ふつう」でしょ？ | ○　子どもたちに、本学習のテーマである「ふつう」という言葉を提示し、関心を持たせる。 |
| **２　教材「『ふつう』って何だろう？」をみんなでみる。**  ☆では、「『ふつう』って何だろう」という話をするので、話を聞きながら考えてみましょう。 | ・ああ、それも「ふつう」なんだ。  ・いろんな「ふつう」があるんだね。  ・おもしろい。  ・みんな違っていていいんだね。 | ○　パワーポイント教材を提示し、子どもたちと話し合いながら進めていく。  　①この人の「ふつう」は？  　②いろんな「ふつう」  　　・見た目　・できること  　　・ふるさと  ※外国にルーツがあることは、すてきなことであることを押さえる。 |
| 考える | **３　いろんな「ふつう」について、身近な生活から考える。**  ☆　今のお話で、いろんな「ふつう」があることがわかったね。「ちがっているのが『ふつう』なこと」って、ほかにもないかな。みんなで考えてみよう。 | ・名前  ・家族の人数  ・ペット  ・家（家族）の仕事  ・苦手なもの  ・髪の色  ・肌の色  ・色の見え方  ・休みの日の過ごし方  ・おしっこの色 | ○　ワークシートを配布し、まず個人で考えさせてみる。どうしても思いつかなかったら、まわりの友だちや先生からアドバイスをもらってもいいことを伝える。 |
| ☆　じゃあ、みんなが考えてくれたいろんな「ふつう」を出し合ってみよう。 | ・そうそう、それも。  ・そんなのもあるんだ。  ・それもなの？  ・おもしろい。 | ○　子どもたちが思いついたものをすべて板書していく。板書しない方がいいようなものは口頭で認めていく。 |
| ☆　お互いの「ふつう」を紹介し合ってみよう。 | ・えっと、自分の「ふつう」は…。  ・みんなは、どうなんだろう？  ・これは、書きたくないな。  ・そんな「ふつう」もあるんだ。  ・「ふつう」は、人それぞれだから、ちがっててもいいんだね。  ・こんなに「ふつう」って、いろいろなんだね。 | ○　出されたいくつかの項目を取りあげ、その項目についての自分の「ふつう」をワークシートに記入する。ただし、書きたくない項目は、無理して書かなくていいことも確認しておく。  ○　グループの中で紹介し合わせる。紹介する際には、「えー」など否定的な反応はせず、「うんうん、なるほど」と肯定的に反応することをルールにしておく。伝え合いが終わったら、ルールを守れたことをほめ、ちがうのが「ふつう（あたりまえなこと）」を確認する。 |
| まとめる | **４　金子みすゞさんの詩を読み、学習のまとめをする。**  ☆　金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」をみんなで読んでみよう。 | ・いい詩だね。  ・なんか気持ちがわかる気がする。 | ○　金子みすゞさんの詩を全員で読み、子どもたちに感想を聞く。 |
| ☆　今日の学習のまとめをしましょう。 | ・ちがっているからって、ばかにするのは「まちがい」なんだね。  ・うん、ばかにされたりしたら、嫌な気持ちになるし。  ・そんな人がいたら、「ふつうはいろいろなんだよ」って、教えてあげればいい。 | ○　パワーポイントの最後の部分を提示し、ちがうからってバカにしたりすることは、「まちがい」であること、そのまちがいをなくすことで、みんなが安心して楽しく暮らせる学校やまちになることを確認する。 |
| ふり返る | **６　本時の学習の感想を書く。**  ☆　今日の学習で思ったことをワークシートに書きましょう。 | ・「ふつう」って思ってたよりいろいろあって、おもしろかった。  ・自分が「ふつう」って思ってことが違っていたのでびっくりした。 | ○　ワークシートに感想を書かせる。  ○　次時からの活動がある場合には、それを伝える。  ○　感想は必ず確認し、必要なフォローを行う。 |

**「ふつう」って何だろう？**　ワークシート

３年（　　）組　名前（　　　　　　　　　　　　　）

**１　「ふつう」って、ほかにもないかな。さがしてみよう！**

**挿絵 が含まれている画像

自動的に生成された説明２　みんなの「ふつう」を　しょうかいしよう。**

　① わたしの（　　　　　　　　）は、

です。

　② わたしの（　　　　　　　　）は、

です。

　③ わたしの（　　　　　　　　）は、

です。

**３　今日の学習で、思ったことを　書きましょう。**

